

学会誌の研究意義の表現から見る日本と 中国の学術文化の相違

董 芸（深圳大学）



研究背景

- 張(2017)は中国の日本語教師を対象にアンケート調査した結果、多くの教師は「科研能力を高める必要があるが、まだ欠けている」と述べている。
- 費(2021)によると、中国語母語話者は日本語の逆転移により、中国語の学術的な語彙を正しく使えないという。たとえば、日本語の「誤用分析」「上級学習者」などをそのまま中国の論文で使う現象がみられる。



対照修辞学

- ・語彙や文法レベルだけでなく、文章レベルでの分析が必要である (Kaplan 1966)

- ・研究目標

学習者が第二言語で考えを表現できることを目指す

- ・言語と文化の関係

文章の展開パターンは**国の文化や人の考え方に影響される**



研究目的

- ・日本語と中国語の学術論文を分析し、対照修辞学の観点から**研究意義の述べ方**について考察する
- ・研究意義の述べ方から、日本と中国における「**研究価値の見方**」を探る



研究結果

- ・研究意義の出現位置
- ・研究意義の特徴
- ・研究意義と文化の関わり



研究意義の出現位置

- ・「はじめに」「先行研究」「考察」の3箇所
- ・共通点: 「はじめに」と「考察」が多い
- ・違い: 日本は「先行研究」に書かれることもある



「はじめに」における研究意義 (日本語)

(1) 客観的な表現が多い

- 本研究は～を目的とし、～を分析(考察)する(75例)
- 本研究は～を明らかにし、～を目指す(99例)

(2) 主観的な表現が少ない

- ～に貢献する/提言する(26例)
- ～鍵となる(13例)



「はじめに」における研究意義 (中国語)

(1) 客観的な表現が多い

- 本研究通过分析～、旨在～ (110例)
- 本研究旨在探讨～ (61例)

(2) 主観的な表現も多い

- 具有重要意义和启示(107例)
- 提供参考(43例)



「先行研究」における研究意義 (日本語)

(1) 主観性が増える

- ~意義がある(37例)
- ~示唆する(34例)
- ~を提言する(13例)

(2) 客観的な表現もある

- ~を検証する(16例)



「先行研究」における研究意義 (中国語)

- ・「はじめに」での書き方とほぼ同じ

例：提供启示、参考



「考察」における研究意義 (日本語)

- 客観的な表現が多い
- ～可能性がある(55例)
- ～示唆される(34例)
- 主観的な表現が少ない
- ～に貢献する(13例)
- ～指摘できた(12例)



「はじめに」との違い（日本語）

(1) 研究の発展につながるような表現がある

(2) 学術意義より社会意義のほうが多い

・グローバル化に伴い実務研修に参加する外国人の増加が見込まれる現在

・そんな日本語教育を実践することが、その日本語教育を体験する学習者や実習者、すなわち、将来の日本語教員たちへの私たちへの私たちなりの貢献なのだと思う。



「考察」における研究意義 (中国語)

(1) 学術意義が多い

- 理論(101例)→理論体系を重視する
- 本研究結果一定程度上验证了“不及物动词层级分类”理论
- 本研究结合了二语视角和理性行为理论, 探索并验证基于学习过程的翻转课堂接受度路径模型



「考察」における研究意義 (中国語)

(2) 社会意義が広い

- ・各高校大学外语教学应在**国家整体教育规划**布局内,在我国外语教育体系的**蓝图**中。
- ・外语教育技术学学科的构建既是对我国外语教育学科发展承上启下的**总结和梳理**,也是对**新技术时代外语教育科学发展**的重新界定。



まとめ

- 日本語では、**先行研究**に基づいて研究意義を書くことがある
- 語彙レベルでは、日本語の場合は**客観的な表現**が多いのに対し、中国語の場合は**主観的な表現**が多い。
- 日本語の場合は、**社会意義**を重要視する一方、中国語は**理論体系**を重要視する



参考文献

- 張麗梅（2017）「中国高校日语专业教师发展现状和发展需求研究——以教学、科研与能力意识为中心」『日語学習と研究』04：47 - 56
- 費曉東（2021）「日语教育领域学术用语使用规范性问题探讨」『日語学習と研究』04：69 - 75
- KAPLAN R B. Cultural thought patterns in intercultural education [J]. Language Learning. 1966(16): 1-20.

